

本日、ここに令和4年市議会12月会議が開会されるに当たり、3期目の市長就任のご挨拶を申し上げますとともに、提案いたしました補正予算を初めとする諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

初めに、先の市長選挙におきまして、市議会をはじめ、多くの市民の皆様からご支援をいただき、当選の栄に浴することができました。2期目に引き続き、無投票当選をさせていただき、これまでの取り組みをお認めいただいたものと考えております。これまでの2期8年間、対話と参加を基本に、市民目線に立った市政運営を行い、一定の評価をいただいたものと感じておりますが、新たな任期におきましても、引き続き対話と参加を信条に市民本位の視点で市政の運営に努め、市民の皆様が住んでよかったと実感できる白山市づくりに全身全霊を傾け、職務に邁進する決意であります。引き続き、議員各位並びに市民の皆様には、ご理解とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

さて、3期目を迎え、白山市の将来を見据えた新たな施策にも果敢に取り組む必要があると考えております。

一つは、市役所を含む周辺公共施設の再整備であり、市役所本庁舎は、平成10年に建設いたし、早いもので、はや24年が経ち、施設・設備の老朽化が、散見されるようになりました。このような中、今年8月には、豪雨により、手取川が氾濫危険水位に達し、初めて緊急安全確保を発令するなど、これまでにない状況となりました。かねてより、本庁舎の地下にあります受変電設備等が水害により浸水被害を受けた場合には、使用できなくなるという指摘をいただいております。設備の更新時期でもあることから、今後起こり得る浸水被害時にその機能を維持するため、受変電設備等を地上で新設することとし、併せて、大規模災害発生時に対応可能な機能を併設することとし、本庁舎北側に隣接する形で、災害対策本部を迅速に設置できる会議室を備えた建物の増築に取り組んでまいりたいと考えております。

また、多くの皆様にご利用いただいております松任総合運動公園グラウンドであ

りますが、人工芝設置から14年が経過し、芝の損傷や劣化が進み、競技の際に支障を来すようになってまいりましたので、人工芝の全面張り替えに着手をいたします。

さらに、公立松任石川中央病院についてであります。地域の中核病院として、住民の皆様へ、安心して、信頼された医療を提供してまいっただけでなく、近年の新型コロナウイルス感染症におきましても、大きな役割を担ってまいりました。人生100年時代の超高齢化社会に向け、持続可能な医療を提供していくためにも、施設の整備は必要であります。現在の施設は、平成元年に建設し、6次にわたり、増築を行ってまいりましたが、新たなウイルス感染症への対応、医療情報のデジタル化、災害拠点としての設備拡充などの面で、現在の建物では、効率的な対応が難しいことから、既存の建物も一部活用しつつ、現在の建物の北側、市役所側におきまして、新たな整備に着手いたしてまいります。経営母体である企業団を構成する白山市、野々市市、川北町が連携し、広域行政の推進の中でしっかりと進めてまいりたいと考えております。

もう一つは、白山ろくの旧庁舎についてであります。合併前には、村役場として使用されていた旧庁舎は、合併直後には、支所として使用いたしておりましたが、その後の組織の改編や施設の統廃合などにより、また、耐震に対応していないことから、現在は庁舎としては使用せず、その機能は、新たな場所で市民サービスセンターが担っております。そのため、耐震化されている旧吉野谷支所を除き、跡地利用を具体的に決定した上で、既存の建物を取り壊すこととしております。その跡地利用につきましては、それぞれの地域の皆様と共に考え、地域の活性化に繋がる利用策を決定したいと思っております。その財源には、過疎債などを充てたいと考えており、時間的な制約もありますので、スピード感を持って取り組んでまいります。

こうしたことに加えて、市民生活に密接に関係する施策につきましては、これまでも、市民目線に立ち、きめ細かい行政サービスの推進に取り組んでまいりました。それらをもっと発展させ、白山市がもっと住みやすく、もっと活力と魅力あふれる

まちにしていく必要があります。そこで、対話と参加を基本に、5つの視点から、「もっと」を進めてまいります。

1つ目の「もっと」は、「もっと安全な地域」であります。

私は、市長就任時より、災害に強いまちづくりのためには、自主防災組織が地域において果たす役割が大変重要であると考えております。すべての地区で自主防災組織が組織されるよう丁寧に説明をいたし、地域コミュニティ組織への補助制度も設け、取り組んでまいりました。こうした中、今年8月、これまでに経験したことのない豪雨災害に見舞われ、白山ろくを中心に甚大な被害が発生いたしました。災害が発生する前から関係機関と連携を取り合い、豪雨等の気象状況の動向を注視しながら、早い段階から避難所を開設し、状況に応じ、避難を呼びかけました。住民の皆様には、避難の呼びかけに速やかに応じていただいたところであり、結果として、人的被害はありませんでした。今回の災害において、自主防災組織の重要性を改めて認識いたしましたところであり、市内28地区すべてにおきまして、組織していただきたく、防災訓練や協働のまちづくりを通してお願いいたしてまいります。

また、地域を牽引していただくこととなる防災士のご活躍も大変重要でありますので、防災士の育成も支援しながら、地域で拠点となる大型の防災倉庫や地区公民館への防災倉庫の計画的な設置にも取り組み、大規模な災害に備えてまいります。

2つ目の「もっと」は、「もっと活力あるまち」であります。

産業観光の中心と位置付けております（仮称）白山総合車両所ビジターセンターにつきましては、8月に着工し、令和6年春の北陸新幹線敦賀延伸に合わせて竣工できるよう整備を進めております。その正式名称についてであります。これまで様々な場面で用いておりました（仮称）白山総合車両所ビジターセンターの名称が広く皆様の印象に残っており、その認知度が高いことから、「ビジターセンター」の名を残すこととし、「白山市立鉄道ビジターセンター」にいたしたいと考えております。現在、その根拠となる条例の整備作業を進めておりますので、施設の運営

方法等が定まり次第、条例案をご提案いたしたいと考えております。また、その愛称につきましては、その後、ロゴマークと併せて、広く全国を対象に募集を行うこととしており、市民の皆様を初め、多くの皆様に末永く親しんでいただける施設となるよう、開業までの一層の機運醸成に努めてまいります。

3つ目は、「もっと快適な暮らし」であります。

新型コロナウイルスにつきましては、11月に入って再び感染者数が伸びはじめ、現在、第8波の中におります。これまでも、オミクロン株に対応したワクチン接種や5回目の接種、生後6か月からの乳幼児のワクチン接種を開始するなど、感染拡大を防ぐため、ワクチン接種を促進させる対策を実施いたしております。これらワクチン接種の期限は、来年3月末までとなっておりますので、市民の皆様には、それぞれに応じた早めの接種をお願いするものであります。

また、食料品やエネルギーを初めとする生活関連の物価高の影響についてであります。保育所や小中学校の給食費に係る保護者への支援や、肥料、飼料の購入費用に係る農業者への支援を実施してまいりました。さらに、家計への影響を大きく受ける低所得者向けの支援策のほか、全市民を対象に、先月下旬から順次お届けいたしております一人当たり4,000円の地域応援券など、対策を広く講じてきたところであります。地域応援券は、これから年末年始を迎えるにあたり家計の出費がかさむ時期でありますので、ご家庭の状況に応じて使っていただくようお願いいたします。

4つ目は、「もっと安心の子育て」であります。

子育て環境につきましては、いち早く18歳までの医療費の無料化に取り組んだほか、多子世帯の保育料の2人目半額、3人目以降無償化、金沢広域急病センターでの夜間急病体制整備などにも取り組み、保護者の方が安心して子育てできる環境の整備に努めてまいりました。一方で、保育施設の充実にも努めてまいりましたが、保護者の方が希望する施設にお子さんが入所できないなど、保育需要に十分にこたえていないことも事実であります。そこで、松任の中心部において、来年4月よ

り、市立松任幼稚園を発展的にこども園化するとともに、法人こども園には、定員増の協力をお願いいたしております。また、鶴来地域で、法人運営による鶴来第二幼稚園がこども園に移行するための準備をいたしておりますので、支援をしていくほか、2つの土地区画整理事業が進展することから、その地域での需要にも対応していきたいと考えております。

5つ目は、「もっと輝く個性」であります。

ジオパークにつきましては、ユネスコによる世界ジオパーク認定の現地審査を10月に終え、あさって7日から開かれるユネスコのカウンスル会議で、専門家による審議が行われることになっております。認定の可否につきましては、この会議の結果等を踏まえ、来年5月に開催予定のユネスコ執行委員会において決定されることとなっております。まずは、カウンスル会議で良い結果が出ることを願うものであります。

また、健康長寿のためには、認知機能を維持していくことが大切で、現在、取り組んでおります認知症予防の「あたまとからだの健康増進事業」の取り組みにつきましては、取り組む対象者をさらに拡大させたいと考えております。

高齢者福祉につきましては、鶴来地域の高齢者のコミュニティ活動の拠点として昨年4月に蓬萊荘を整備し、現在は、美川地域において、緑寿荘の建設を進めております。来年春以降のオープンを予定いたしており、高齢化社会に対応した生きがいづくりの場となることが期待されるところであります。

以上の5つの視点から主要事業を継続してまいります。将来に向け、人口の社会増にも積極的に取り組む必要があり、定住促進対策の充実と中心部の空き家活用が進むよう、効果が一層高まる制度設計をしてまいります。

また、良好な住宅地を供給していくことも効果的であり、現在、鶴来地域で組合施行による土地区画整理事業が進められておりますので、これを支援することで、賑わいを創出し、地域の活性化に努めてまいります。

加えまして、企業を誘致することで、雇用が生まれ、その周辺での居住が進み、

人口の増加に繋がっていきます。現在、段階的に整備を進めております旭工業団地北部地域では、第1期分の分譲につきまして、希望の企業と契約に向け、鋭意、調整を進めているところであります。

以上、私の3期目の市政運営に当たり、所信の一端を述べさせていただきました。

それでは、提案をいたしました諸議案につきまして、ご説明申し上げます。

提出案件は、補正予算案6件、条例案6件、事件処分案7件の計19件であります。

初めに、議案第104号から議案第109号までの令和4年度補正予算案についてであります。まず一般会計につきましては、補正予算総額19億1,608万円余で、これを現計予算に加えますと、611億2,453万円余となり、前年度同期比で、5.4%の増となります。その主なものといたしましては、総務費では、電気料金高騰の影響を受けた光熱水費などに不足が生じるため追加補正し、マイナンバーカードの交付を推進するほか、民生費では、心身障害者医療給付費、障害者自立支援給付費及び法人保育園運営費補助金に不足が生じるため追加補正を、また、放課後児童クラブの松任トマト・ポテトクラブの改築計画の変更により工事費等を減額し、また、衛生費では、新型コロナ対策として、ワクチン接種を推進するための経費を、また、労働費では、移住支援金を、また、農林水産業費では、国の割当内示に伴う土地改良事業に対する補助金や美川漁港の浚渫の追加工事費を、また、土木費では、道路の区画線の復旧工事費や河川の浚渫工事費を、また、教育費では、小中学校と公民館の燃料費や電気料金のほか、中学生の全国大会等への出場に伴う中学校体育連盟・文化連盟への補助金を、災害復旧費では、豪雨災害により被災した道路や河川等の復旧工事費などを、それぞれ計上いたすものであります。

なお、人件費の補正につきましては、石川県人事委員会の勧告に準拠し、給与改定を行うものであります。

次に、特別会計及び事業会計につきましては、一般会計同様、給与改定に伴う人件費について補正を行うとともに、国民健康保険特別会計につきましては、保険給付費等の返還金などを計上するほか、水道事業会計につきましては、上水道整備拡

張事業費や白山ろく簡易水道統合整備事業費などを、また、下水道事業会計につきましては、柴木第二及び部入道町の土地区画整理事業区域内の管渠整備費を計上するものであります。

次に、議案第110号から議案第115号までの条例案につきまして、その主なものを、ご説明申し上げます。

白山市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例につきましては、地方公務員法の改正に伴い、本市職員の定年の引き上げ等に関し、関係条例を整備するものであり、白山市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例につきましては、職員の給与を石川県人事委員会勧告に準拠し、改定するため、また、白山市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例につきましては、市民サービスの向上のため、各種手続きを書面で行っていたものを、オンラインで手続きを行えるようにする条例を制定するものであり、白山市犯罪被害者等支援条例につきましては、犯罪被害者等への総合的な支援を推進するための条例を制定するものであり、白山市立認定こども園条例につきましては、保育需要の高まりに対応するため、現在の松任幼稚園をこども園化することとし、新たに市立のこども園を設置するための条例を制定するため、関係規定を改正するものであります。

最後に、議案第116号から議案第122号までの事件処分案につきまして、ご説明申し上げます。

指定管理者の指定につきましては、地方自治法の規定に基づき、議会の議決を求めるものであり、「松任総合運動公園陸上競技場改修工事請負契約について」の議決の一部変更につきましては、追加工事が発生したことに伴い、契約金額に変更が生じたため、議会の議決を求めるものであります。

以上をもちまして、今会議に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒、慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜われますようお願い申し上げます。